

山本 荷兮(やまもと かけい)

資 料

短冊『上有知にて 秋の里 竹きるなりと 響くなり
荷兮』

作 者

1648(慶安元)－1716(享保元). 8. 25

尾張(愛知県)名古屋生まれ。

名古屋で医師をする。「芭蕉七部集」の初期3篇『冬の日』
『春の日』『阿羅野』を編集する。新しい蕉風の俳諧になじ
めず蕉門を離れ、晩年は連歌師となり法橋に叙せられる。

参考文献

『曠野集 員外』(山本荷兮／編 筒井庄兵衛 1689

[県立 911. 32/29(11948551)])

『蕉門俳書集(1・3・5)』(山本荷兮／著 蕉門俳書研究会
／編 勉誠社 1983. 2

[県立 911. 33/27/1・3・5])

『蕉門の66人』(山川安人／著 風神社 1999. 5

[県立 911. 33JJ/118(21244553)])

『俳人評伝(上)』(大磯義雄／著 明治書院(俳句講座

2) 1958 [県立 911. 308/6/2(11946910)])

